

【全校道徳】

昨年 1 2 月 1 6 日(火) 6 校時、いじめ防止のための全校道徳を行い、その様子を「No. 18」で紹介していましたが、今号ではそのときの授業でワークシートに書いてもらった生徒の皆さんの意見を一部紹介します。

(1) どんなことがいじめとなるのでしょうか。

- ・暴力 暴言 悪口や陰口
- ・仲間はずれ 差別 無視 いじり
- ・人の心や体を傷つけること
- ・考え方の対立
- ・人を悲しい気持ちにさせる行為
- ・人を精神的に追いつめること
- ・相手が嫌だと思ったことはいじめ
- ・見て見ぬふりをする
- ・軽いいじりがエスカレート
- ・集団で一人をバカにすること
- ・いじりの暴走
- ・その人の心の範囲で許せる以上のことをすること
- ・無理なことをむりやりやらせる
- ・その人の短所につけむこと



pixta.jp - 5649148

(2) いじめを受ける人はどんな気持ちでいると思いますか。

- ・つらい 不安 泣きたい 死にたい
- ・孤独感、絶望感、疎外感、自己嫌悪
- ・自分がある意味を見失う。
- ・誰も信用できない。学校に行きたくない。
- ・助けてほしいけど、助けを求めたらもっといじめられるかも知れない。自分で‘助けて’を言えない。我慢している。

- ・なぜ自分だけこんなことをされるのだろう。
- ・誰に頼っていいのかわからない。
- ・気持ちがだんだん暗くなっていく。誰にも心を打ち明けられなくなる。
- ・裏切られた。後ろ向きな気持ちになる。
- ・友達関係が怖くなる。誰にも会いたくなくなる。
- ・助けてほしい。見てる人は止めてくれ。
- ・嫌なことがあるなら直接言葉で伝えて。
- ・ネガティブ思考になって病んでしまう。
- ・外見は笑っていても本当は悲しい。
- ・自分の存在そのものを否定されているように感じる。
- ・生きる気力がなくなってしてしまう。
- ・どこにも出かけたくなくなる。
- ・生まれてこなきゃよかったとか、全部をマイナスに考えてしまう。
- ・学校と家での態度が変わる。家ではつらい感情が出てきてしまう。
- ・気持ちがだんだん暗くなっていく。誰にも心を打ち明けられなくなる。



pixta.jp - 10262786

(3) いじめる人にひと言

- ・いじめを止めて心を変えた方がいい。
- ・相手の気持ちを考えて行動して。
- ・伝えたいことを言葉で表せばいい。
- ・だれかをいじめることでストレス発散などと思わないで！何がいじめかをちゃんと知って！自分がいじめだと思ってなくても相手は苦痛！
- ・自分と違うからといっていじめるのは間違っている、すぐくみともないことだよ。
- ・いじめはときに人の命を奪うこともあるから止めた方がよい。
- ・弱い人をいじめてる人こそ一番弱いよ。

- ・いじめを楽しいと思うなら君はサイテーだ！
- ・自分の心も傷つけることになる。自分に不幸が返ってくる。
- ・自分はいつより強いと思わせたいんですか。
- ・自分がいいと思っても少し立ち止まって考えて発言する。
- ・誰かの欠点を見つけて悪く言って何が楽しいの！
- ・自分のやってる愚かな行動に気づいて。
- ・いじめられる側は、いじめる側が思っているより悩んだり苦しんだり悲しんだりしている。
- ・どれほど自分のしていることが惨めか考えよう。
- ・集団でしか強気になれないのはさみしい生き方だと思う。
- ・あなたの自己満足のために誰かを傷つけるという考え方はとても不快。
- ・いじめられる人の心には一生刻まれるくらいひどいことをしているんだよ、気づいて！
- ・話し合って素直になろうよ。
- ・いじめて残るのは罪悪感だけ。



(4) いじめを傍観する人にひと言

- ・見てたり笑ったりしてるのは、その人をいじめてるのと同じ。
- ・少しでも自分にできることを探してみようよ。
- ・言葉に出せばきっと何かが変わる。
- ・先生に言うなど行動しよう。
- ・勇気をもって注意する。勇気を持つことが大切。
- ・いじめられている人に言葉をかけるだけで、その子は救われるから声をかけてほしい。

- ・見ているだけじゃ何も変わらない。
- ・いじめてる人の仲間になれば絶対ダメ。
- ・いじめられてる人の味方につく。かばう。守る。
- ・いじめられている人に言葉をかけるだけで、その子は救われるから声をかけてほしい。
- ・いじめたらいつか自分に返ってくるよ、今度は自分が痛い思いをするよ。
- ・いじめられてる人の側にいて支えてあげよう。
- ・一人で立ち向かわなくても、みんなで行動するといじめはなくなる。
- ・いじめられてる人に寄り添って下さい。
- ・君の小さな行動で何かが変わるかも知れない。
- ・いじめられている人が相談できる環境を作ろう。
- ・無理してその場で言わなくても、あとで誰かに相談しよう。
- ・いじめられてる人とコミュニケーションをとる。
- ・支える人がいじめる人より多くなったらいじめはなくなると思う。
- ・自分のことを守るより、人のことを守る方が行動力が出る。困ってそうな人には声をかけよう。
- ・「自分もやられたくないから」じゃなく「自分から」が大事だと思う。



(5) いじめをノックアウトするには、あなたならどうしますか。(行動宣言)

- ・自分自身がいじめをしない。いじめている側につかない。
- ・勇気をもって注意したり声をかけたりする、いじめる人に「やめろ」と言う。
- ・いじめられている人がいたら優しい声をかける。

裏面にもあります。

- ・すぐに止める。迷わず止める。
- ・先生・親などの大人や友達に事実を伝え相談する。先生から注意してもらう。
- ・先生や親に相談して教えてもらったことを行動にする。
- ・皆の前で注意するのはできないかも知れないので他の場所で助けてあげる。
- ・どんな人とでも話せるようにする。
- ・耐えているのではなく「やめて!」と、はっきり言う。
- ・いじめをしない、させない、見逃さない。自から動き出す勇気をもって行動する。
- ・困っていることをきちんと言葉にして話す。
- ・いじめられている子と一緒にいてあげて一緒にたたかう。
- ・サインに気づく。相談されたら真剣に考える。
- ・いじめが起きてしまうような環境や空気をつくらない。
- ・みんな同じ人間で、一人一人個性があるから受け入れてほしい。
- ・みんなで話し合いをもつ。人とコミュニケーションをとる。きたない言葉をつかわない。
- ・相談してもらえる環境をつくる。
- ・尊重し合うことが大事。
- ・個性を認め合い相手の気持ちを優先させる。
- ・‘嫌われる勇気’と‘言葉にして伝える’を行動にうつす。
- ・メールなどではなく、ちゃんと目を見て話すことが大切だと思う。
- ・いくら仲がよい者同士でも思いやりの気持ちはずれずに接する。
- ・他の人の長所を探してみんなに伝える。



(6)いじめのない学級・学校であるために、「こんな自分でありたい」を言葉にする…(〇〇な自分)

- ・いじめをしない自分
- ・いじめられない自分
- ・いじめを見たら止める自分
- ・いじめに加入しない自分
- ・けじめのある自分
- ・みんなと仲良くする自分
- ・みんなに優しい自分
- ・優しい気持ちで人と接する自分
- ・声かけできる自分
- ・勇気ある自分
- ・よくないことをしたら謝る自分
- ・ダメなことをダメと言える自分
- ・他を思いやれる自分
- ・全員に平等に接し、みんなのことを理解してあげられる人になりたい。
- ・見て見ぬふりせず思ったことを言える自分
- ・「あなたがやめたら、いじめがなくなるからやめな!」と言える自分
- ・善悪の判断ができる自分
- ・善な自分
- ・真っ直ぐな自分
- ・正直な自分
- ・いじめられている人を助ける自分
- ・大人に相談できる自分
- ・誰にでも優しく楽しく話せる自分
- ・いじめをうまないような雰囲気をつくる自分
- ・周りに流されない自分
- ・人を気遣う自分
- ・気配りができる自分
- ・いじめられている人の見方になれる自分
- ・頼られる自分
- ・相談される自分
- ・嫌なことがあっても人にあたったりしない自分
- ・心のきれいな自分
- ・人の心をしっかりわかる自分
- ・言葉遣いをきれいにする自分
- ・正義感のある行動ができる自分
- ・ブレーキをかけられる自分

- ・自分が嫌だと思ふことを人にやらない自分
- ・表裏がなくみんなと本音で話せる自分
- ・人の気持ちや心に寄り添える自分
- ・誰も見捨てない自分
- ・笑顔な自分
- ・誰かのために行動できる人
- ・人の好き嫌いが無い自分
- ・みんなに平等に優しく、時に厳しく接することができる自分
- ・物事を冷静に見ることができる自分
- ・相手を尊重できる自分
- ・客観的に物事を見て、異変に気づき行動にうつせる自分
- ・全員のよいところを見つけられる自分
- ・和やかな自分
- ・人を認められる自分
- ・誰かに不満があっても、それを誰かに伝える必要はないので言わない(いじめの原因をつくらない)自分
- ・いじめが起きたら状況を変える勇気をもつ自分
- ・いじめられている人に救いの手をさしのべられるような自分
- ・「NO」とはっきり言える強い自分
- ・周りから見て話しかけやすい自分
- ・みんなから愛される自分
- ・先のことを考える自分
- ・人はみな違うから、それぞれを個性として受け入れられる自分



【お礼とこれからも…】

このように、全校生徒の皆さんから多くの貴重な意見を募ることができました。本当にありがたく思います。先日の全校朝会で私から生徒の皆さんにお礼を述べたところでした。

ご存じのとおり「いじめ防止対策推進法」が制定され、今年度のはじめには県教委や市教委を通じて、各校でいじめ防止基本方針がつけられました。その基本方針に従って、いじめの未然防止や早期発見・早期対応について、学校・保護者・地域・関係機関などによる総がかりで取り組むことが義務づけられました。本校では、**GPS**(ガジュマル・プロジェクト in 三中)がキーワードとなっています。「多幸の樹」と言われるガジュマルをシンボルとして、いじめの防止に向け広く深い浸透を図ってきました。その具現化として、各学級にガジュマルの鉢を置き大切に育てることをとおしてGPSを身近に感じて意識を高めること、学級活動や道徳などの授業をとおして実践力を身につけること、また、アンケートや教育相談による対応、日頃の様々な関わりの中での対応や指導をとおしての取組に力を入れてきました。

いじめは、ちょっとしたボタンの掛け違いからにしても、意図的にいじめようという思いからにしても、人間関係から派生するものだと思います。それは軽くても根が深くてもいじめはいじめです。決していじめてよいという理由はありません。生徒の皆さんからの意見には、まさにどんないじめをも許さず、人権を守り、善悪の判断を自ら揺るがすことなく、徹底して正義を貫き、人を大切にする・人との関わりを大切にすることから豊かで健やかな人間関係や社会生活を営もうとする意思がこちらから感じることができました。

これからも…右の写真のように、すべての人が手を取り肩を組んで、いつまでも円満に笑顔で人間関係を楽しみ、互いに支え合いながら生活が満たされる学校であり社会であることを願いたいものです。